



小松市



KOMATSU UNIVERSITY

要申込
参加無料

2026

公立小松大学

Komatsu University

市民公開講座

Open UniverCity

受講生大募集

公立小松大学の
グローバルな学びで
未来へ飛び出せ!



KOMATSU UNIVERSITY



小松理事長

志村学長

佐川副学長

上田学部長

徳田学部長

中子学部長

公立小松大学 市民公開講座

Open UniverCity

公立小松大学市民公開講座では、地域に開かれた学びの場として、多様なテーマで講座を開講します。大学で行われている学術の研究成果や専門的な知識を分かりやすくお伝えし、市民の皆様が新たな視点を得る機会となることを目指しています。

本講座は、どなたでも参加可能です。知的好奇心を刺激し、新たな発見を楽しむ場として、皆様のご参加をお待ちしております。



※講座の詳細は公立小松大学ホームページからご確認ください(各講座開講1カ月前に公開予定)

※講座ごとにお申込みいただく形となります。各講座の申し込みフォーム(二次元コード)からご予約ください。



1 アカデミックリーダーズセミナー(全6回)

開催日時 | 6月~8月 14:00~15:30 会場 | 中央第2キャンパス

募集人数 | 各回50人

申込締切 | 6月下旬



申し込みはこちら▲

新たに就任した理事長、学長、副学長、学部長による6回シリーズの特別講座です。文理の垣根を超え、様々な角度から楽しく考察します。

1 6月27日(土)

講演テーマ

食で紡ぐ国際交流の物語 —「和食」を軸に—

講師 | 公立大学法人公立小松大学 理事長
小松 親次郎 Shinjiro Komatsu

●講演要旨

近年、和食や伝統的酒造りがユネスコの無形文化遺産になるなど、日本の食文化への評価が高まっています。また、昨年末、加賀料理は登録無形文化財となりました。一方、現代の食卓には世界の食材やお皿が並びます。食文化を通じた国際理解の持つ意味や大切さは、今後益々深まることでしょう。特に相互のリスペクトを高める食の交流の物語はどのように作れるのでしょうか。最近の外交活動経験の諸実例を御紹介しつつ考えたいと思います。



講師プロフィール

1956年西独生まれ。早稲田大学政治経済学部卒業。1981年文部省(現文部科学省)入省。1988年~1990年石川県庁勤務。大学振興課長、私学部長、研究振興局長、初等中等教育局長等を経て文部科学審議官。2020年駐コスタリカ特命全権大使。退官後、政策研究大学院大学特任教授等。2026年より現職。経済協力開発機構(OECD)教育研究革新センター日本代表理事、国際大学理事等を務める。

2 7月4日(土)

講演テーマ

アート

自分らしい生き方とは？ ホスピス・在宅ホスピスを通じて考える

講師 | 元公立小松大学副学長、金沢美術工芸大学名誉教授
横川 善正 Yoshimasa Yokogawa
元在宅ホスピス緩和ケア勤務
岡田 圭 Kei Okada

モデレーター | 公立小松大学 学長
志村 恵 Megumi Shimura

●講演要旨

「終活」や「墓じまい」といった話題が増えてきた今日ですが、改めて「自分らしい生き方」や最期をどう生きるかがわたしたち一人ひとりの課題になっています。

本対談では、イタリアのホスピスに長らく関わって来られた横川元副学長とニューヨークで在宅ホスピス緩和ケアに携わっておられた岡田先生に、それぞれの経験から考える「自分らしい」人生と最期のあり方について語り合っていたいだこうと思います。



講師プロフィール(左から)

横川善正

長年、芸術教育に関わってきたが、イタリアのホスピスとの出会いによって、人生でもっとも困難なときに必要なアート、これを支えるアーティストについて考えるようになった。近著に『ターミナルアート ケアの時代と「お仕舞い」のデザイン』(田畑書店)

岡田 圭

ニューヨーク生まれ、金沢育ち。大学卒業後、1982年に渡米、ニューヨークの美大を卒業後、ポストモダンのダンス劇制作に4年間関わる。28年余り病院や施設で臨床スピリチュアルケアに携わる。在宅ホスピス緩和ケアで15年半勤務。近著に『いのちに驚く対話 死に直面する人と、私たちは何を語り合えるのか』(医学書院)

志村 恵

1957年、高知県に生まれる。名古屋大学とドイツ・ミュンヘン大学に学ぶ。2024年4月から公立小松大学に勤務。専門は、ドイツ学、キリスト教学、多胎家庭支援研究。現在は、外国をルーツに持つ市民によるピア・サポート活動や多胎家庭のピア・サポートの実践的研究をしている。

3 7月18日(土)

講演テーマ

「食」と旅・地方都市と「食」

講師 | 公立小松大学 国際文化交流学部長
中子 富貴子 Fukiko Nakako



●講演要旨

観光客の誘致は外国人観光客(インバウンド)にもアピールする時代になりました。外国人観光客にとっては日本の「食」は大きな誘引になっています。また地方ではその地域ならではの「食」が観光客を引きつけます。観光にとって不可欠な「食べる」ことと、地域の食を支えることについて考えてみたいと思います。

講師プロフィール

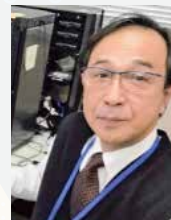
2013年大阪市立大学大学院 創造都市研究科 博士後期課程 修了、2015年神戸山手大学 現代社会学部 観光文化学科 准教授、2018年公立小松大学 国際文化交流学部 国際文化交流学科 准教授、2022年 公立小松大学 国際文化交流学部 国際文化交流学科 教授、2026年 公立小松大学 国際文化交流学部長。

4 7月25日(土)

講演テーマ

南加賀地域におけるAI活用の挑戦

講師 | 公立小松大学 生産システム科学部長
上田 芳弘 Yoshihiro Ueda



●講演要旨

スマートファクトリーやスマートホームといった次世代のシステム構築が急速に進展しています。そのベースにはクラウドやIoT、AIなどのいわゆるデジタル技術を駆使したシステム開発があり、大きな社会変革へと繋がろうとしています。急激に発展するAI技術へ恐怖心を持つ人も多くなっていますが、あらゆるシステムは人の為になることを目的に構築されるべきとして南加賀地域の皆様と一緒に挑戦を続けている事例を紹介します。

講師プロフィール

石川県金沢市生まれ。慶應義塾大学工学部で学び、石川県工業試験場に勤務。石川県内のものづくり企業やIT企業の皆様と一緒に研究開発、生産性の向上などに取り組み、技術の奥深さや常に挑戦し続けるマインドの大切さを痛感。当大学ではデータ科学を中心に担当し、南加賀地域の幅広い産業でのAIやIoTの活用に貢献することを希望。

5 8月1日(土)

講演テーマ

生涯スポーツのすすめ！ あなたのスポーツライフを 見直しましょう

講師 | 公立小松大学 副学長(教育担当)
佐川 哲也 Tetsuya Sagawa



●講演要旨

生涯スポーツとは、誰もがいつでも、どこでも、いつまでも、関心や目的、体力に応じて運動やスポーツに親しむことであり、誰もが自由にスポーツをプレイしたり、観戦したり、応援したりすることです。適度な運動・スポーツは、私たちが健康に導く優れた活動です。スポーツの効果をよく理解して、スポーツに親しむ生活習慣を作りましょう。

講師プロフィール

1961年愛媛県生まれ。愛媛大学と筑波大学大学院でスポーツ社会学を学ぶ。2026年より当大学に勤務。大学院時代にタイ国東北部で子どもの遊び研究を開始し、現在もミャンマー、スリランカなどにおいて子どもを対象とした健康調査を継続して実施している。

6 8月8日(土)

講演テーマ

排便は見方がたくさんあります

講師 | 公立小松大学 保健医療学部長
徳田 真由美 Mayumi Tokuda



●講演要旨

排便、うんこは、自分のことであっても知らないことが多いです。便秘だと思っても便が出ていたり、性状が調整できなかったりすることがあります。排便について知ることは、できることが増え、便を気持ちよく出すことにつながります。排便とはどのようなものか、便の観察方法、便によい食事や生活、便の出し方、困り事(便秘や下痢、便失禁など)への対処方法などを紹介し、一緒に考えたいと思います。

講師プロフィール

専門は在宅看護学。千葉大学大学院博士後期課程にて博士(看護学)取得。看護師、保健師、看護学科教員を経て現職。在宅療養をする人と家族への支援に関する研究、排便ケアに関する研究などを行い、その人らしく生きることを支えることを重視している。日本うんこ文化学会理事、小松市コンチネンスケア検討委員会委員。

市民公開講座の会場は
昨年オープンした中央第2キャンパス!
(ウレシヤス小松4階)



2 国際交流センターセミナー 灼熱の中東からみつめる世界：紛争・宗教・社会を読み解く

開催日時 6月20日(土) 14:00～15:30 会場 中央第2キャンパス

募集人数 100人

申込締切 6月中旬



申し込みはこちら▲

中東地域研究や難民研究を専門とする教員が、複雑化する中東地域の今を分かりやすく解説します。

講師 公立小松大学 国際文化交流学部 国際文化交流学科 講師

望月 葵 Aoi Mochizuki

●講演要旨

「アラブの春」、シリア内戦、イスラエル・ガザ紛争、そして米・イスラエルによるイラン攻撃と、中東情勢は激動と混迷の時代の最中にあります。さらに国際情勢だけでなく、中東諸国の多くは高い失業率、慢性的な水資源の不足、難民問題など、様々な危機への対応に迫られています。本講演では、現在進行形の紛争や政治動乱に触れながら、それだけでは見えてこない中東地域の「いま」について、現地でのフィールドワークをもとに報告します。

講師プロフィール

専門は中東地域研究、難民研究。立命館大学立命館アジア・日本研究機構専門研究員、日本学術振興会特別研究員(PD)を経て、2024年より現職。親の転勤に伴って引っ越しを繰り返した子供時代の経験から移動とアイデンティティの関係に関心を抱き、中東地域における難民の帰属に関する研究を行っている。



3 市民公開フォーラム2026 vol.1 健康とウェルビーイングを叶える歩き方

※共催：(一社)日本体力医学会
北陸地方会

開催日時 6月21日(日) 10:10～11:20 会場 中央第2キャンパス

募集人数 30人

申込締切 6月上旬



申し込みはこちら▲

健康とウェルビーイングを実現するための「歩き方」について、身体活動科学および臨床運動生理学の観点から概説します。

講師 帝京大学医療技術学部スポーツ医療学科 教授

佐藤 真治 Shinji Sato

●講演要旨

本講演では、日常生活に取り入れやすい身体活動としての「歩行」に着目します。従来、歩行は生活習慣病予防のための有酸素運動として位置づけられてきましたが、近年の研究では、歩行が心理的ウェルビーイングや社会的関係性にも影響を与えることが示唆されており、特に、複数人で歩くことでさらに効果が得られる可能性が示されています。さらに、ゆっくりとした歩行は五感を拡張し、自己受容感を向上させることが考えられ、単なる身体活動にとどまらず、「自分らしく生きる感覚」や「人とのつながりの実感」を支える行動としての歩行の価値が再評価されています。

こうした点から、「みんなで、ゆっくり、身の丈に合った歩き方」を提案し、健康寿命の延伸だけでなく、主観的幸福感を高める新たな身体活動のあり方について考察します。

講師プロフィール

2011年より大阪産業大学人間環境学部 准教授を務める。2014年には同学部 教授に就任。2019年より帝京平成大学健康メディカル学部 教授となる。2021年より、帝京大学医療技術学部 教授に就任。日本心臓リハビリテーション学会 評議員、日本体力医学会評議員、日本臨床運動療法学会 理事、Exercise is Medicine (EIM) Japan 理事 など、さまざまな学会で精力的に活動している。



4 市民公開フォーラム2026 vol.2 ネコの目から見た日本の歴史と文化

開催日時 10月31日(土) 14:00～15:30 会場 中央第2キャンパス

募集人数 100人

申込締切 10月下旬



申し込みはこちら▲

国立歴史民俗博物館館長が「ネコの目」という視点から、日本の歴史と文化を捉え直し、日本社会の多層性と、人と自然の関係性を分かりやすく解説します。

講師 国立歴史民俗博物館 館長

西谷 大 Masaru Nishitani

●講演要旨

本講演では、国立歴史民俗博物館館長が「ネコの目」という日常に密着した視点を手掛かりに、日本の歴史と文化を捉え直します。人間の暮らしの変化を身近に見つめてきたネコは、農耕、都市化、信仰などの変遷を映す鏡でもあります。考古遺物・絵画・民俗資料、フィールドワークを通して、身近な動物から浮かび上がる日本社会の多層性と、人と自然の関係性をやさしく解き明かします。

講師プロフィール

1959年京都府生まれ。熊本大学文学部史学科卒業、同大学院修了後、中国の天津師範大学・中山大学に留学。1989年に国立歴史民俗博物館へ就職。専門は中国考古学・東アジア人類学で、人と自然、生業や食文化の関係を研究。2020年より館長。総合的視点による学際的研究と展示の高度化を目指している。



5 次世代考古学研究センターセミナー 博物館からひろがる地域と世界 —まちづくりと国際協力のこれから—



開催日時 | 10月3日(土) 14:00~15:30 会場 | 中央第2キャンパス

募集人数 | 100人

申込締切 | 9月中旬

申し込みはこちら▲

世界や地域における様々な事例を通してこれからのまちづくりと国際協力について考えます。

講演テーマ

グローバルな視点による ミュージアム活動と 文化遺産国際協力

講師 | 静岡大学大学院 情報学領域 准教授
(公立小松大学 次世代考古学研究センター 特任准教授)
村野 正景 Masakage Murano



講演テーマ

世界遺産コパンとまちづくり： エコミュージアムプロジェクト の取り組み

講師 | 東京藝術大学大学美術館 学芸研究員
(公立小松大学 次世代考古学研究センター 客員研究員)
五木田 まきは Makiha Gokita



●講演要旨

昨今、ミュージアムの社会貢献的役割がクローズアップされています。国際的ミュージアムの代表組織であるICOMIは、最新の決議で、地域振興や平和構築、ウエルビーング等への貢献に強い期待を示しました。世界のミュージアムは、各地の事情に沿ったローカルな取組をおこないつつ、こうしたグローバルな課題へどう貢献できるかを模索しています。本発表では、京都や中米における発表者の経験をもとに、ミュージアム活動の最前線を紹介しします。

講師プロフィール

専門はミュージアム・スタディーズ、文化資源学、パブリック考古学。エルサルバドル共和国文化庁や国立人類学博物館に青年海外協力隊として勤務。2024年まで京都府京都文化博物館学芸員として、教育・展示のほか、博物館DX、地域連携によるまちづくり事業を担当。ホンジュラス共和国コパン地方考古博物館のリニューアル事業にも携わる。

●講演要旨

世界遺産コパンのマヤ遺跡が位置する中米ホンジュラス共和国コパン・ルイナス市では、地域に点在する文化資源や生活文化を見直し、住民主体で保存と活用を進めるエコミュージアムの取り組みが進められています。本発表では、JICA草の根技術協力事業として実施されているエコミュージアムプロジェクトを事例に、これまでの活動の概要と現地での実践を紹介しながら、文化遺産を活かした地域づくりの可能性と課題について考えてみます。

講師プロフィール

専門は文化資源マネジメント、博物館学。中米ホンジュラスの世界遺産コパン遺跡周辺地域を対象に、文化遺産の保存と地域社会の発展を両立させる文化資源の活用や住民参加型の取り組みについて研究している。博物館教育や地域住民参加型の文化遺産活用の実践にも取り組んでいる。博士(学術、金沢大学)。

講演テーマ

文化財×デジタル技術×国際 協力:ホンジュラス人研修生 と描くこれからの博物館と まちづくり

講師 | 公立小松大学大学院
サステナブルシステム科学研究科
次世代考古学研究センター 特任助教
小川 雅洋 Masahiro Ogawa



●講演要旨

2025年度の文化庁委託事業による本邦研修では、ホンジュラス人研修生が小松市をはじめ日本各地で三次元計測やその活用事例を学びました。地域の文化財をデジタル技術で記録・発信する取り組みは、博物館展示や観光振興、市民参加型のまちづくりにも応用可能です。本報告では、小松を含めた日本での学びがコパン遺跡やコパンプルイナス市の博物館、地域振興にどのように活かされ得るのか、その可能性と展望を具体的に紹介します。

講師プロフィール

専門はマヤ考古学、文化資源学。2023年より現職。主に中米ホンジュラスの世界遺産コパン遺跡において、黒曜石製石器の分析や遺跡の三次元記録に取り組んでいる。近年は、ホンジュラスやグアテマラのマヤ文明世界遺産を対象とした現地人材育成、まちおこし、博物館リニューアルなどの国際協力プロジェクトにも携わっている。



6 英会話カフェ & 中国語カフェ 世界へのトビラを拓こう

留学生を含む学生と市民が、小松の文化や歴史、食、自然などをテーマに、アクティビティを交えた異文化体験交流を通し、楽しく語学を学びます。



英会話カフェ
はこちら▲



中国語カフェ
はこちら▲

英会話カフェ

開催日時 | 毎月2回 平日18:30~20:00

会場 | 中央キャンパス英語カフェ他 **募集人数** 各回15人

コーディネート | 小松市国際交流協会 **申込締切** 毎月月上旬

小松市国際交流協会と共催で、英語での会話練習を行います。講師は、小松市国際交流員や小松市内の学校で働くALTです。

中国語カフェ

*材料費等をご負担いただきます

開催日時 | 4月20日(月) 5月18日(月) 6月15日(月)
7月27日(月) 16:30~18:00

※8月以降の開催日時は決まり次第、ホームページで公開します

会場 | 中央第2キャンパス **募集人数** 12人

公立小松大学の教員や留学生とともに、**申込締切** 各回1週間前
中国語での会話練習を行います。

講師 | 公立小松大学国際文化交流学部
国際文化交流学科 准教授
橋本 貴子 Takako Hashimoto



講師プロフィール

専門は中国語音韻史研究。熊本県出身。神戸市外国語大学外国語学専攻博士課程文化交流専攻単位取得満期退学。博士(文学・神戸市外国語大学)。神戸市外国語大学外国語研究所客員研究員を経て2022年より現職。趣味は散歩と旅行。

講師 | 公立小松大学国際文化交流学部
国際文化交流学科 准教授
単 艾婷 Aiting Shan



講師プロフィール

専門は言語学・中国語教育。中国・江蘇省生まれ。九州大学大学院博士課程修了後、九州大学特別研究者、西南学院大学助教を経て2024年より現職。趣味は読書とパンダの動画鑑賞。



そのほか講演会情報

公立小松大学協力会 特別講演会
再考：世界から見る日本、
日本から見る世界

講師 | 公立大学法人公立小松大学 理事長
小松 親次郎 Shinjiro Komatsu



開催日時 | 5月18日(月) 15:30~17:00 **申し込みは**
こちら▲

会場 | 中央第2キャンパス

募集人数 50人 **申込締切** 5月中旬

世界の人々の日本像は、種々論じられてきたばかりでなく、変わる国際情勢の中で重要性を増すテーマです。海外との接点が増える小松市でも、企業や大学の戦略から市民生活、教育活動、文化交流まで、例外ではありません。しかし、実は基本的でありながらなかなか目に入りにくい視点もあり、そこに立つと、私達自身の自己認識にも世界を見る眼にも、新たな景色が浮かんで来ます。主に最近の外交活動経験の諸実例などを取り上げながら皆様と御一緒にその景色を眺めて見たいと考えます。



JR・IR小松駅から徒歩。車でお越しの方は駅周辺の市営駐車場をご利用ください。



お問い合わせ先
公立小松大学事務局 総務課
TEL:0761-23-6600 FAX:0761-48-3247
Email:soumu@komatsu-u.ac.jp

7/18(土) 公立小松大学オープンキャンパス 2026
10/17(土)-18(日) 公立小松大学青松祭

イベント
情報